令和７年度戦略的大学改革・イノベーション創出環境強化事業
実証事業 令和７年度採択校フォローアップ調書
（令和８年 10 月交付分）

法人名：国立大学法人富山大学　大学名：富山大学

(0) 取り組みの対象テーマ

取組テーマ		観点２：社会実装・イノベーションの推進
	○	観点３：地域貢献の強化

(1) 事業初年度から現時点までの取組とその効果
（交付済のうち執行済の交付金における取組について）

(1)－1. 実施した取組の具体的な内容

富山大学は、本事業で伝統医薬品の「品質」と「臨床効果」を検証可能な革新的モデルを構築し、大学改革を進めることを目指し、②地域貢献、③多様性と卓越性、④研究環境、⑤マネジメントの 4 分野において、次の取組を実施している。なお、本事業で取り組む伝統医薬品は、「第 7 期科学技術・イノベーション基本計画」の新興・基盤技術領域の「内視鏡等の医療機器技術、医薬品・ワクチン等の公衆衛生技術等の先端医療関連技術」に該当し、事業は「先端研究設備等の整備・共用・高度化の推進」と「高度専門人材の育成・確保・活躍促進」、特に「研究マネジメント人材及び技術職員の確保・育成・活躍促進」に寄与する。※関連 KPI は共通するため(1)-2 に記載した。

②地域貢献の強化

○「ヘルスケアイノベーション戦略会議」設置：県内自治体、民間企業、金融、富山県医師会、県薬業連合会等がメンバーに入る同会議を設置し、地域貢献とそのための大学改革に向けて幅広い意見を頂き、議論している。令和 8 年 4 月の第 1 回会議では現実的な社会実装について討議した。

○「富山大学 県庁サテライト」開設：令和 8 年 3 月に開設し、5 月にはコーディネーター（以下、「CD」）を配置して、製薬企業・自治体・関連団体とのネットワークの構築を開始した。

○自治体・製薬関連企業とのコミュニケーション促進：共用機器利用促進のための「分析機器利用案内」の冊子作成を進めており、8 月下旬頃を目途に本格的に自治体・企業へ配付する予定である。

③多様性と卓越性の強化

○海外大学とのネットワーク強化：和漢研がマレーシア科学大学と締結している部局間協定を大学間プロジェクト協定に格上げし、共同研究の拠点となる富山大学初となる海外センターである USM-UT Joint Technology & Innovation Centre を設置した（令和 8 年 2 月）。熊本大学はアフリカ（ハルツーム大学）との大学間協定再締結準備を進め、共同研究を拡大した（令和 7 年～8 年）。

○国際連携担当 URA 配置：国際展開の調査を担う URA1 名が令和 8 年 8 月に着任予定。

○海外若手研究者育成：グローバル研究者形成拠点を中核として、国際的に卓越した海外の若手研究者 5 名の育成を推進している。

④研究環境の整備

○伝統医薬、健康食品等の成分組成分析及びデータ解析体制の整備：

・地域連携分析センター：伝統医薬品や健康食品の成分組成等の分析を行う同センターを開設。機器管理技術補佐員が 4 月に着任し、本格稼働に向けて改修工事準備、測定設備の納入手続きを開始した。熱重量分析装置及び超遠心機は 7～8 月に設置予定。技術職員交流による測定技術の向上。

・臨床データ統合解析センター：伝統医薬品の臨床研究・治験の実施結果のデータベース化、伝統医薬品の新たな活用法の提案を目指す同センターを開設し臨床データ解析 CD が 6 月に着任。

・アフリカ天然物・海洋生物資源の成分分析及び天然物創薬に関する分析（令和 7 年～8 年）：実験体制の基盤構築及び質量分析システムの安定的かつ高精度な稼働体制の維持。（熊本大）

・プロファイリング環境整備：SIMCA 統計解析システム及び GC-MS の導入。（北里大）

○伝統医薬に関する臨床研究・治験：富山大学内で 4 件開始に向けて準備中。臨床研究 URA 公募中。

○ヘルスケア・社会実装 URA 及び学術研究・産学連携 URA の配置：医薬理工・附属病院の連携プロ

ジェクトの増加及び産学官連携体制の強化を担う両 URA が令和 8 年 5 月に着任。

⑤マネジメント改革

○経営戦略タスクフォース：富山大学の経営体制を戦略的に強化することを目指し、財務戦略、人事戦略、研究リソース戦略を一体的に検討する場として同タスクフォースを令和 8 年 4 月に設置し、経営戦略案の検討を進めている。

○クラウドファンディングによる寄附金獲得：外部資金増加を目指し、岐阜県飛騨市に協力いただき、ふるさと納税型のクラウドファンディングを実施。

○外部資金獲得・財源多様化の取組：学術研究・産学連携本部を中心に、共同研究等の獲得に向けた企業・自治体への働きかけを強化した結果、令和 7 年度の共同研究・受託研究等の受入額は 28 億 5,266 万円となり、令和 6 年度実績（26 億 2,100 万円）を上回り、過去 5 年間で最大となった。

(1)－2. 提案する取組により想定される効果

②地域貢献の強化

○ヘルスケアイノベーション戦略会議：自治体や企業の意見・要望が顕在化し、方向性が明確化。

○富山大学 県庁サテライト：サテライトが起点となり、県庁内や他自治体及び企業と連携が強化。

○自治体・製薬関連企業とのコミュニケーション：自治体・企業連携強化。滑川市と協定締結予定。

[関連 KPI]：同一県内企業との包括連携協定数、同一県内大/中小企業との共同研究・受託研究の件数、社会人研究者数、企業・自治体からの信頼度・評価、自治体との包括連携協定数、共同利用設備の利用件数、共同研究・受託研究の受入額

③多様性と卓越性の強化

○海外大学とのネットワーク強化：ASEAN、アフリカ等との国際共同研究、国際共著論文の増加。

○国際連携 URA：海外動向の把握等、国際展開に向けた体制が整う。

○海外若手研究者育成：若手研究者が育成され、国際共同研究が推進される。

[関連 KPI]：国際連携協定数、国際共著論文数、国際共著論文の著者数（研究者数）、トップ 10%論文数、外国人留学生数、若手研究者比率、研究者支援者数（海外連携担当）。

④研究環境の整備

○伝統医薬、健康食品等の成分組成分析及びデータ解析体制：伝統医薬の分析、データ解析に係る共用装置が増設され、また、サポート体制が整備される事で、学内外の研究力が向上した。

○ヘルスケア・社会実装 URA 及び学術研究・産学連携 URA：研究支援が強化され、研究者の研究時間の増加に寄与し、研究、産学連携、社会実装の進捗に貢献する。

[関連 KPI]：研究支援者数（研究者間連携担当/技術職員/臨床治験）、共同利用設備の利用件数、共同研究・受託研究の受入額、トップ 10%論文数。

⑤マネジメント改革

○経営戦略タスクフォース：財務、人事、研究リソース等を全学的な経営戦略として統合的に検討する基盤が整備。大学の収入増加に貢献する。

[関連 KPI]：寄附金獲得額、共同研究・委託研究受入額

(2) 令和８年 10 月交付による取り組み計画と見込まれる効果
（令和８年 10 月の交付金及び交付済のうち未執行の交付金における取組について）

(2)－1. 提案する取組の具体的な内容と実施計画

②地域貢献の強化

○ヘルスケアイノベーション戦略会議：4 回/年開催し、メンバーから継続的に助言を受ける。

○富山大学 県庁サテライト：サテライト CD とヘルスケア・社会実装 URA 及び学術研究・産学連携 URA が連携し、自治体・製薬企業訪問を進める事で包括連携協定や共同研究等を活性化する。

○自治体・製薬関連企業とのコミュニケーション：「分析機器利用案内」の冊子を活用し、製薬企業との協議を促進し、地域ネットワークの構築を図ると共に、機器の共同利用を進める。熊本大学ではナレッジワーカーの育成、技術職員のキャリア支援を行う。

○プロファイリング環境整備：「生薬メタボリックプロファイリングデータベース」の構築・運用技術者の配置（北里大）

③多様性と卓越性の強化
○海外大学とのネットワーク強化：国際共同研究に関して ASEAN 諸国（タイ）と意見交換を行うほか（令和 8 年度後期）、韓国において国際会議を開催する（令和 8 年 10 月）。
・スーダンオフィスの研究基盤整備、エジプトとのネットワーク構築、オフィス構築を行い、共同研究を拡大する（熊本大）。
○国際連携 URA：伝統医薬の海外展開の調査を開始。令和 8 年 8 月に 1 名雇用予定。
○海外若手研究者育成：国際的に卓越した海外の若手研究者 5 名の育成推進を継続する。

④研究環境の整備
○伝統医薬、健康食品等の成分組成分析及びデータ解析体制の整備：
・地域連携分析センター：改修工事の実施、新機器共用予約システムの構築。核磁気共鳴分光計（NMR）の購入準備。連携大学における技術職員の技術向上を図るため、相互交流を行う。
・臨床データ統合解析センター：担当 CD による伝統医薬のデータ収集・解析の実施。
・三大学連携の共同研究：分析・標準化に関する三大学共同研究の提案と実施体制整備。
・アフリカ天然物・海洋生物資源の成分分析及び天然物創薬に関する分析：共用設備利用の定着化・利用促進、分析技術共有（熊本大）。
○伝統医薬に関する臨床研究・治験：2 件を開始する。伝統医薬に関するシーズの探索を行う。
○ヘルスケア・社会実装 URA 及び学術研究・産学連携 URA の活動をさらに推進する。

⑤マネジメント改革
○経営戦略タスクフォースを継続して開催し、経営戦略に沿った取組みについて議論する。
○臨床研究を支援するクラウドファンディングについては、新規の立ち上げを検討する。
○外部資金獲得や研究力強化に向けて研究開発マネジメント人材(URA)等のキャリアパスについて「経営戦略タスクフォース」において継続的に検討する。

(2)－2. 提案する取組により想定される効果

②地域貢献の強化
○ヘルスケアイノベーション戦略会議：地域貢献に向けた計画の精緻化。地域薬業会との連携強化。
○富山大学 県庁サテライト：自治体、企業との連携を深め、包括連携協定の拡大並びに地域の課題の解決に貢献すると共にヘルスケア産業育成に繋がる。
○自治体・製薬関連企業とのコミュニケーション：自治体・企業との連携強化、機器共同利用増加。
○プロファイリング環境整備：構築される「生薬メタボリックプロファイリングデータベース」を活用し、産学連携が促進（北里大）。

③多様性と卓越性の強化
○海外大学等関係機関とのネットワーク強化：タイ、韓国、スーダン、エジプト等との国際共同研究等が活性化される。
○国際連携 URA：海外の動向調査により、国際展開の方向性が明確となる。
○海外若手研究者育成：国際共同研究が拡大・充実する。

④研究環境の整備
○伝統医薬、健康食品等の成分組成分析及びデータ解析体制の整備：連携大学との相互利用により、連携大学の技術の向上が図られると共に、企業の委託分析により利用収入の増加が見込まれる。技術職員の相互交流により、分析・解析技術の向上が図られる。
○伝統医療に関する臨床研究・治験：臨床研究により伝統医薬の臨床的なエビデンスを強化する。
○ヘルスケア・社会実装 URA 及び学術研究・産学連携 URA：自治体及び製薬関連企業との連携が促進され、共同研究、受託研究が促進される。

⑤マネジメント改革
○経営戦略タスクフォース：経営戦略の策定により研究資金や人材の重点投資、外部資金獲得、研究支援人材配置が明確となる事で効率的な経営が行われ、共同研究等の受入額増につなげる。
○クラウドファンディング：寄附金等外部資金収入の多様化、受入額増に貢献する。
○研究開発マネジメント人材（URA）等のキャリアパスの検討：URA 等の業績評価制度を策定する事により、URA の応募人数の増加、質の向上が図られる。